



ひとにやさしく がんばりすぎずに継続し勇気をもって しっかり学ぶ 東っ子！413名

【今回の学校だよりは、電子媒体でのみの配信となります。児童用には教室に先生方が掲示していただいています。(..)】



飯塚市の放課後児童クラブがなぜ、全国でも有名なのでしょうか？！！

5月17日(土)～18日(日)に福岡県立社会教育総合センターにおいて、中国・四国・九州地区第42回生涯教育実践研究交流会が開催されましたので、私は18日に参加させていただきました。その会の中で、特別企画テーマとして、家庭教育実践結果に見る保護者の実態と社会教育の役割～この40年間で何が変わったのか、何が必要なのか。について飯塚市教育委員会元教育長の森本精造先生と、放送大学名誉教授の菊川律子先生と、県立社会総合センター専任企画室長の石津峰先生の鼎談がありました。その中で、文部省のデータ近年の日本の不登校の現状は、約34.6万人であり(R5年)前年比は4.7万人の増、いじめについても約73.2万人(R5年)前年比は約5万人増、引きこもり(15～64歳)推定146万人(中学時代不登校18.1%推定約26万人)厚労省による児童虐待数は約22万件、前年比1.6万件増加と増えているという数値でした。実態としての調査結果報告としては、「過保護・放任」の子育ての実態が明らかになってきています。つまり、過保護については、「世話・指示(干渉を含む)」受容、授与の4領域で過保護であり、放任については、「基本的生活習慣、耐性、体力等」について放任である。つまり、過去の家庭教育調査児童達が「過保護2世」になった。その子らが現在の「過保護3世・4世」の社会になっている。とおっしゃられていました。私は、では何が今の子ども達に欠損しているのだろうとじっと伺っています。

①自然接触体験の欠損 ②縦割りの集団の欠損 ③自発的活動体験の欠損 ④社会参加体験や勤労体験の欠損 ⑤困難体験の欠損 ⑥それらを補うのが社会教育の役割であるとう結論付けられました。社会教育も奥が広く次のようなジャンルがあります。

・交流センターや公民館の青少年健全育成教育関連事業、子ども会事業(県や市町村子指連)・社会教育施設事業(国や県や市、町村の自然の家の学習活動等)・全国や県や市や単PのPTA活動連携事業、国や県や市の読書活動および図書館教育事業、NPO法人事業、児童クラブ事業、総合型地域スポーツクラブ事業・県及び市町村スポーツ推進員育成事業、高校生向けの選抜実習委員会事業、県や市の子育てサポーターリーダー育成事業、市役所町村役場関係課教育相談事業、県民体育大会関連事業、地域活動指導員事業、国や県や市のトップアスリート派遣事業や、国や県や市の芸術体験事業、学校応援地域本部事業(コミュニティスクール関係事業)

県や市町村の放課後子ども教室事業などまだまだ社会教育団体の事業はありますが、私達教師は、保護者のみなさんにそういった団体の皆さんが発信する事業をお子さんや本市はTETORU(テトル)を介してご紹介していきますし、行政の方々への仲介役として保護者の皆さんの子育てに関する不安や悩みの解消や解決にむけてつないでいきます。また、①～⑥までの欠損を、学校行事や日常の学習活動や、日々の授業に導入していくことが私達教師としての役割ではないのかなと思います。県談者の飯塚市元教育長の森本精造先生は、最後に、「現代の子どもの欠損体験を補うその秘策の1つとして、飯塚市の放課後子ども教室(児童クラブ)と、飯塚市内の学校との連携」を挙げられました。会場はどよめきに代わりました。森本先生は、山口県の約300ある学校の中で、唯一、和木町教育委員会さんが児童クラブ【わきっ子クラブ】の主管を教育委員会の管理下におかれ、学校と密に連携されていることに端を発し、飯塚市の児童クラブを飯塚市教育委員会主管で、指定管理者が、児童の健全育成のプロフェッショナルなNPO法人青少年健全育成会さんであること、また、一部を取り入れた縦割りや自発活動的な活動や、各クラブ独自のGTを活用したプログラムを市内児童クラブさんがされていることあげられていました。

本校の先生方も、毎週1度必ず児童クラブさんに通われているお子さんの様子をうかがいに行かれていますし、毎年秋の成果発表会である、3世代交流会などの発表会にも応援に行かれている姿をみるたびに「児童クラブさんと学校のすてきなリレーションシップ」を感じています。毎月1回の担当の先生方や関係者の皆様、児童クラブの先生方との「子ども達の活躍報告」会議は、飯塚市内どの学校(&児童クラブさん)も開会されています。

今朝、私は、和木町教育委員会の吉兼様にお電話差し上げた際、本校の学校だより児童クラブのわきっ子児童クラブさんが、教育委員会主管で、和木小学校と教育委員会との絆の密接な関係が深いことを掲載してもいいですか？とお尋ねしますと「いいですよ。これからもよろしく。」と快く承諾を受けております。吉兼様ありがとうございます。

おわりに、飯塚市の児童クラブの素晴らしさがなぜ全国に知れ渡っているのかは、このように、元教育委員会教育長の森本精造先生が、中国・四国・九州大会におけるご講演やインタビューダイアログや教育鼎談や、司会をされる中で、和木町や飯塚市の児童クラブの子ども達や先生方のさわやかな活動、青少年健全育成の教育事業や頑張りや、毎年、紹介されているからであります。児童クラブさんに通所する飯塚市のお子様の耐性や、独自の学習プログラム遂行が心の豊かさや学力や体力向上の要因の1つにもなっております。素晴らしいです。現在を含め、ここまで築かれた関係の皆様、理解をいただいた保護者や地域の方々や歴代のお子さんのご努力とがんばりに感謝申し上げます。(..)





飯塚第2中学校生徒の皆さん。先生方、保護者のみなさん、地域の皆さん。ミラクルをおこしてくれてありがとうございました。今から、また、新たな夢を追い求めてください。!(^)!いつまでも応援しています!!



第19回 体育会



遠い昔のことさ 夢で見たんだ
燃える空に包まれて
光る大地の中を駆けめぐる時
君は.....

夢伝説 by スターダストレビュー



目と目が合ったら Miracle
運命の不思議な兆し
こうしてとりついたのは奇跡

作詞・作曲 竹内まりあ 歌：牧瀬里穂「Miracle〜」

